

8月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 舘野 健一

行った主な活動

摘芯作業

8月は、BKシードレスとシャインマスカットの新梢の伸びを確認しながら摘芯作業を行った。8月4日・5日はBKシードレス、17日から19日はシャインマスカットを中心に、枝ごとの樹勢や新梢の伸長状態を見て摘芯位置を判断した。一律に同じ位置で切るのではなく、葉の量、枝の充実度、果房とのバランスを確認し、日当たりと風通しを確保することを意識した。摘芯後も副梢の伸びや葉色を確認し、過度に枝を切り詰めず、果実の成熟と翌年に向けた枝づくりの両方を意識して作業を進めた。連日の作業を通じ、樹勢を見ながら判断する重要性を学ぶことができた。



袋掛け（透明袋への付け替え）

収穫前管理として、果房の状態を確認しながら通常の果実袋から透明袋への掛け直しを行った。8月8日はクイーンニーナの透明袋への付け替えと笠取り、26日・31日はシャインマスカットの透明袋への掛け直しを実施した。袋を外した際に粒の張り、房形、着色や傷みの有無を確認し、収穫前の外観と成熟状態を一房ずつ点検した。掛け直しでは、袋が果房に強く触れないこと、留め部分が緩まないこと、作業中に粒を傷つけないことに注意した。透明袋に替える作業を通じ、収穫直前まで果房の変化を観察し、品質を守るための細かな確認が重要であると学んだ。



8月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 舘野 健一

活動を行った感想など

収穫期に向けて、透明袋の状態や果房の傷み、病害虫などの異常をこまめに確認し、早期発見を徹底する。シャインマスカット等は、房形や着色などを継続して観察し、収穫判断力を養う。摘芯後の新梢管理では、必要な葉を確保しつつ、棚面の明るさと風通しを維持する。

また、8月の作業（摘芯・袋掛け直し）の実施日と内容を記録し、品種ごとの生育の違いと結び付けて来年度の効率化に活かす。収穫後も健全な葉を維持して翌年につなげる管理を継続する。販売時に品質や工夫を自信を持って説明できるよう、管理の理由と結果を結び付けて理解し、一房ごとに丁寧な品質確認を行う。

今後の目標など

今後は収穫期に向け、透明袋の破損や果房の傷み、病害虫などの異常の早期発見を徹底する。シャインマスカット等は房形や着色を継続して観察し、収穫判断力を養う。摘芯後の新梢は必要な葉を確保しつつ、棚面の明るさと風通しを維持する。特に収穫直前は果房だけでなく、園全体の状態を確認して品質低下の兆候を早く把握する。

また、8月の作業内容を記録し、品種ごとの生育の違いと結び付けて来年度の作業効率化に活かす。収穫後も健全な葉を維持して翌年につなげる管理を継続する。販売時に品質や工夫を自信を持って説明できるよう、管理の理由と結果を結び付けて理解し、一房ごとに丁寧な品質確認を行うことを目標とする

